



伊豆の国市 議会だより

2011年8月1日発行
No. 23

編集
伊豆の国市議会だより特別委員会
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



富士山反射炉を世界遺産に...!!
(昭和45年頃撮影)

5月臨時会

新委員会構成 2

6月定例会

一般質問 4

委員会報告 9

議案一覧 12

新委員会構成

5月臨時議会において、副議長と監査委員の選出が行われ、副議長に秋田清氏が就任し、監査委員には土屋紀男氏が選出されました。

委員会の構成も決まりました。総務・福祉文教・観光建設の3常任委員会と議会運営委員会・議会制度改革特別委員会・議会だより特別委員会の6委員会であります。



副議長 秋田 清



監査委員 土屋紀男

(◎委員長 ○副委員長)



萩原眞琴 松下善洋 三好陽子 鈴木幸雄
○鈴木照久 ◎鳥居松彦 板垣紀夫

当委員会は、市議会委員会条例の改定により、総務企画部の秘書広報課・政策企画課（まちづくり推進室）・財務課・総務課・情報システム課・契約検査課。
市民生活部の市民課・韮山支所市民課・大仁支所市民課・課税課・徴収対策課・地域安全課（市民協働室）・会計課・議会事務局・監査委員事務局・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項、並びに他の常任委員会に属さない事項を対象としております。

総務委員会

保健福祉部・教育部が所管する事務の審査、調査を行います。
保健福祉部は主に、生活保護・障がい者福祉・高齢者福祉・介護予防・各種検診・国民健康保険・地域包括支援センターなどに関することです。
教育部は、主に学校施設管理・保育園幼稚園施設の管理・社会教育・生涯学習・施設使用管理・図書館に関することです。
市民の健康福祉・学びに関する分野であり、市民の生活をより豊かなものにするべく、努力してまいります。



土屋紀男 古屋鋭治 水口成男
山下孝志 ◎田中正男 ○後藤眞一 秋田 清

福祉文教委員会



水口哲雄 大沢秀光 渡邊俊一
柴田三智子 ◎鈴木平一郎 ○天野佐代里 高橋公一

観光建設委員会

観光商工課・企業誘致室・文化振興課・歴史資源活用推進室で構成される観光・文化部と、環境衛生課（循環型社会推進室）・広域廃棄物処理対策室・農業振興課で構成される環境・農政部と、都市計画課（住宅管理室）・建設課・上下水道課で構成される都市整備部とが所管となります。

主な審議案件は、商業・観光・農業の振興に関すること、道路や河川、都市計画、水道・下水道、環境保全、美化、斎場、廃棄物の処理などです。



田中正男 松下善洋 大沢秀光 鈴木平一郎
鳥居松彦 ◎水口哲雄 ○山下孝志 古屋鋭治

議会運営委員会

総務・観光建設・福祉文教の三つの常任委員会より選出され、定数は八名です。

正副議長がオブザーバーとして出席しています。

委員会の開催時期は、定例議会開催の一週間前、また臨時議会の告示後一週間以内に開催しています。

その他、議会運営に関する事項、関係条例の改正等検討の必要がある場合にはそのつど開催し、議会の運営が円滑に行われるよう検討審議しています。



三好陽子 高橋公一 柴田三智子 大沢秀光 古屋鋭治
鳥居松彦 ◎山下孝志 ○萩原眞琴 後藤眞一

議会制度改革特別委員会

総務・観光建設・福祉文教の三つの常任委員会より選出され、定数は九名です。

地方自治の本旨に基づき、議会運営の基本原則、議員の責務及び活動原則、市民・行政との関係、市長・行政との関係、その他議会に関する基本事項を内容とする条例の制定・議会改革に関することを調査研究していきます。

議員の問いと
行政の答え

一般質問

一般質問は14名が行い、^{ただ}当局の考え方を質しました。



北江間採石場

北江間採石場の
今後について

高橋公一

問

平成一八年一二月で採石・緑化・埋め戻しの全てが終了との計画だったが、現在も継続している。

①現状どの程度埋まり、完了はいつ頃か。

②跡地利用についてどのようなことが考えられるか。

③市としての様に跡地を位置づけているのか。

答

①埋め戻しに必要な全体的量は七六万立米で、今年三月末でその七〇%が終了。平成二六年度には完了予定。

②跡地の活用方法は、野球場やサッカー場を含めた運動公園を軸に考えたい。

③今年度、この土地の利活用について検討する。

公共下水道の接続促進を

問

事業促進のために工事費助成制度の新設は。

答

今後、他の市町の例なども参考にしながら、未接続の解消のため検討していく。

浜岡原発停止について

問

市長の見解は。

答

東日本大震災を教訓に中長期対策を終えるまでの間、一たん浜岡原発を停止し、その安全性の再確認を行う事は国民に安心感を持たせるためにも必要と考える。中部電力には原発事故が起きないような最善の対策をとって頂きたい。

コミュニティFMの
開局より防災ラジオを

田中正男

問

市は、災害時の情報発信、地域コミュニティ

の充実、観光情報発信などに活用できるとして、三島のボイスキューのようなコミュニティFMラジオの開局に向け、必要性や市民アンケートなど調査を行なうとしている。コミュニティFMの

①開局費用は。

②年間経費は。

③経営形態は。

答

①五〇〇〇万円。
②二〇〇〇万円から四〇〇〇万円。

問

③第三セクターを考えている。ラジオは聞く人が少なく、FMは更に少なく、FMは更に少ないか。それより防災ラジオの配布を。

答

伊豆の国市のチャンネルに固定したFMラジオ

を配布したい。防災ラジオは再度検討していく。

韮山地区の資源ごみも集積所で

問

韮山地区の資源ごみ回収は、各区に一〜二カ

所の拠点回収のため、お年寄りや自動車のない方は、運搬に苦労している。大仁、長岡地区のように、可燃ごみ集積所で回収できないか。各地区の資源ごみ集積所の数は。

答

大仁地区一八五カ所、長岡地区三二二カ所、

韮山地区三二カ所。回収場所については、区の意向を踏まえ十分な協議を行い検討していく。



大仁地区ごみ集積所

東日本大震災後の市の 震災に対する対応に ついて

鈴木幸雄

問

被災者への支援、防災計画の見直し、産業振

興策、節電対策、災害相互援助協定を締結する市の拡大は、

答

地震規模M8からM9

への想定の見直しや、津波対策、原発対策は、国の結果が示された段階で速やかに防災計画の見直しを図る。

避難所の増加など市単独で見直しのできるものは、早急に検討する。

児童生徒への防災教育の見直しは、個人で危機管理ができる能力を身につけさせると共に、保護者向け案内や引き渡しカードの作成、安全、安心の連絡網、メールの一斉送信の整備をしている。

震災後の観光は当面の間、近隣の観光客をターゲットに

考える。市も災害関連・中小企業融資制度を、六月補正予算に二六〇〇万円計上した。

市民向け節電対策マニュアルを作り、市政懇談会等でPRする。災害時の相互援助協定等を検討する。

幼保連携推進に対する 今後の市の考え方に ついて

柴田三智子

問

認定こども園についての検討は行っていますか。検討にあたっては、社会教育委員会に諮問してみているかがですか。

答

政府の方針が流動的です。その行方を見守りながら教育委員会に諮問して、必要性のある場合には、検討委員会を開くなり社会教育委員の既成の組織に諮問して検討していきたいと思っております。



のぞみ幼稚園プール

中学生の防災教育について

問

今回、被災地へ派遣した市職員の経験を、各中学校へ出前講座として活用し、中学生の防災意識を高めたいかがですか。また、各地区の希望がある所へこの出前講座を行ってみてはいかがでしょうか。

答

全くだいいアイデアだと思います。子供達に人を助けること、人とお互いに共生するということはどういうことなのかを教えていくことも大変重要なことだと思っておりますので、それらを積

極的にやっていきたいと思っております。

市内建設業者の住宅施工に 補助金を

大沢秀光

問

建設業界は地元貢献し、インフラ整備には欠くことができない。大手ハウスメーカーの進出により、地元の工務店や大工さんへの受注が極端に激減してしまった。

答

六月一日現在、対象世帯四〇二世帯のうち申請者二二二世帯で、約八六％に当たる二〇一世帯に支援した。

現在、本庁、韮山支所、大仁支所に臨時相談会を開設している。

答

災害時の応急対応や復興・復興を担う重要な業界であり、厳しい経済状況にあることもわかっている。補助制度については、市内の建設事業者や商工業の活性化対策に寄与するので、実施し

ている市町の状況を把握しながら、商工会と協力し検討していきたい。

テレビ放送の デジタル化について

問

市内において、経済的困難等で地上デジタル放送が視聴できない世帯に対し、支援した数は。

答

六月一日現在、対象世帯四〇二世帯のうち申請者二二二世帯で、約八六％に当たる二〇一世帯に支援した。

現在、本庁、韮山支所、大仁支所に臨時相談会を開設している。



狩野川水系河川整備
計画について

水口成男

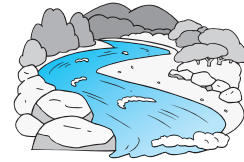
問 大門橋・神島橋間の狩野川左岸暫定堤防^{かさあ}嵩上げと県道整備計画は。

答 伊豆の国市の狩野川における最優先課題として、また国土交通省でも堤防整備の重要区間として位置づけている。県道の整備計画についても国と県が協議をしている。年内には地元説明会を予定している。

問 狩野川中流域豪雨災害対策アクションプランについて

答 柿沢川・堂川・江間川・洞川・葦山古川・宗光寺川・長瀬川・戸沢川・深沢川の整備進捗状況と今後の計画は。平成二〇年度より、対象とする期間を概ね五年として各河川の水位低下対策、流出抑制対策のハード対策、

防災情報の提供、防災意識の啓発、河川管理、個人や民間への指導・支援、水田・森林・ため池の適正管理や有効活用等、ソフト対策にも取り組み順調に進捗している。



外部監査制度導入について

問 財政健全化について、無駄遣いを無くすため、外部の監査を通じて民間の視点や発想を取り入れることも必要では。

答 今後、近隣の市や大都市での有効な事例があれば参考にして考えたい。

問 安全安心のまちづくりと市の防災計画は

答 防災計画の見直しと、市が自主的にできる

後藤眞一

耐震化や備蓄などの推進。地域ごとの情報公開と防災対策を。

問 新たな国や県の指針や被害想定が出たら見直しする。防災意識を持つように諸課題に取り組みたい。各地域自主防のバックアップをしていきたい。

答 対策協議会等の立ち上げを。五月に今後の方針を打診。静雲荘跡地の利用計画は具体的になっていない。でも、残っていただけという思いで、協議会が必要になつたら考える。政治生命をかけてやりぬいていきたい。

順天堂病院問題は

問 対策協議会等の立ち上げを。

答 五月に今後の方針を打診。静雲荘跡地の利用計画は具体的になっていない。でも、残っていただけという思いで、協議会が必要になつたら考える。政治生命をかけてやりぬいていきたい。

問 市地域防災計画について

答 東日本大震災を受け、当市において地域防災計画の見直し、防災拠点の安全性、重要書類・電算関係等の保管・管理体制について見解は、避難所の設置個所を増加するなど、市単独で出来る事は早急に検討したい。大仁・葦山庁舎は今年度耐震補強計画の策定を行う予定。機密性の高い重要書類は各庁舎の耐火金庫、バックアップ

問 竹灯籠祭りは市民参加の祭りになっている。パスポート事業は自立をめざし、無料配布を検討したい。

答 竹灯籠祭りは市民参加の祭りになっている。パスポート事業は自立をめざし、無料配布を検討したい。



竹灯籠祭り

市地域防災計画について

天野佐代里

問 東日本大震災を受け、当市において地域防災計画の見直し、防災拠点の安全性、重要書類・電算関係等の保管・管理体制について見解は、避難所の設置個所を増加するなど、市単独で出来る事は早急に検討したい。大仁・葦山庁舎は今年度耐震補強計画の策定を行う予定。機密性の高い重要書類は各庁舎の耐火金庫、バックアップ

答 東日本大震災を受け、当市において地域防災計画の見直し、防災拠点の安全性、重要書類・電算関係等の保管・管理体制について見解は、避難所の設置個所を増加するなど、市単独で出来る事は早急に検討したい。大仁・葦山庁舎は今年度耐震補強計画の策定を行う予定。機密性の高い重要書類は各庁舎の耐火金庫、バックアップ

問 東西を結ぶ道路は通学路でもあるが狭くて安全性の問題が指摘されている。今後の整備計画は。

答 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

プデータは名古屋のデータセンターへ送り保管している。街中の公園や広場の整備を（防災対策の観点からも）

問 街中の公園の必要性を求める声を多く聞いている。有事の際の避難場所としての役割など、一刻も早い整備が望まれますが見解は。

答 今後、一時避難地に指定していない街中の公園・広場の利活用を検討すべきと考える。救急給排水や簡易トイレ・オープンスペースの確保等を検討して行く。

問 歴史の街にふさわしい伊豆長岡駅周辺整備について

答 東西を結ぶ道路は通学路でもあるが狭くて安全性の問題が指摘されている。今後の整備計画は。

問 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

答 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

問 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

答 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

問 地権者の皆様に強い交渉を続け、市民の安全を確保して行く。

東駿河湾環状道路開通に伴う伊豆中央道を活用したまちづくり

萩原眞琴

問

江間いちご狩りセンター前の伊豆中央道の信号機撤去後の道路アクセスをどう考えるか。

答

いちご狩り組合や関係者の方々の協力をいただき、平成二七年四月までの短い期間でありますがいちご狩りセンターへのアクセス道路（市道）の完成を図りたいと考えている。

伊豆中央道信号機の所の改良等については、料金所の撤廃と同時に総合計画の中で位置づけをし、今後伊豆長岡温泉だけの問題ではなく、地域の問題としてきちつとした形の施設等の建設を考えていきたい。

まず伊豆中央道のアクセス道路につきましても、江間の

フルインター化を実現することにより、採石場跡地の利活用と合わせて、江間地域の活力ある地域づくりに大きく貢献することと思う。かわりの幹線道路をきちつと作っていくような形になるので、地元の方々のご協力をお願いしたい。



伊豆中央道北江間交差点

東日本大震災から

学ぶべきこと

鳥居松彦

問

災害支援協定を結んでいる宮城県多賀城市が、この度の大震災で多大な被害を受け、伊豆の国市に支援を

求めて来た。この事は、多賀

城市の大手の建設業者が国・県の復興事業に追われ、市内の瓦礫撤去にまで手が回らず、中小業者が市街地の瓦礫撤去に当たったが、結果的に作業が進まず、当市への支援要請になった事を一つの教訓として、伊豆の国市でも常日頃から、中小の建設業者の育成に当たるべきではないか。

答

市内建設業者と災害支援行動について、具体的協議はしていないが、今回の大震災における建設業者の役割は非常に重要である。

問

自然災害時の、飛躍的な役割を担っている建設業者の育成について、市長は充分お考えの事と思うが、公共事業における土木建築の請け負い業者が、市内業者の場合は、下請けとして市内の業者が多く、市外業者が元請けとなった場合は、市外の下請け業者が多い点から見て、業者選定を考えるべ

きであると思うがどうか。

答

災害時には地元業者への依存度が高いだけに、グレードを上げていくという事の大切さから、今後の課題として検討したい。

旧スポーツワールドの跡地利用について

古屋鋭治

問

平成三年度は、荒れ果てていた建物等の解体工事が行われ、土地の整備も完了した。市の発展につながる計画を早期に策定すべきである。

①当地への広域ごみ処理施設建設計画の進捗状況は。また、建設候補地は、地元住民の数十年に及ぶ我慢と旧伊豆長岡町との約束文書が存在することから、反対が非常に強く住民の了解は得られないと考えるが、事業推進するの

か。
②過日、議会に説明した「動物の愛護と福祉のセンター

（仮称）」建設の考えは。

③企業誘致の進捗状況は。

答

①広域ごみ処理施設建設は、周辺住民から反対されているが、地区の方が心配されている環境への影響について説明資料を作成し理解を求めていく。広域ごみ処理施設建設は信念を持って最後までやり抜く。

②動物の愛護と福祉のセンター（仮称）は、具体的内容説明をサンフロント21に求め、ファルマーバレープロジェクトとの関係をかながみ、必要性を総合的に判断していく。

③企業誘致は具体的に進んでいない。



旧スポーツワールド跡地

増加傾向の認知症について

鈴木照久

問

- ① 認知症の人数把握は。
② 現在の認知症支援は。
③ 今後の取り組みや対応策は。

答

- ① 認知症状のみられる方は、介護認定者数一八〇八人のうち一四五三人である。
② 認知症サポーター養成講座・介護教室等を行い、支援環境づくりに取り組んでいる。
③ 地域や団体等へ積極的に働きかけ、認知症への理解を図りたい。

時代劇場の施設について

問

- ① 時代劇場の管理は。
② 老朽化した箇所の修理や撤去等の対策は。

答

- ① 文化振興課で管理し使用状況のチェックや利用者からの所見に基づき、修繕等の対応をしている。
② 今後、建物の点検や経年劣化の様子を見ながら、鉄骨の

撤去も視野に入れて検討し、市民が安全で安心して利用できるような管理運営に努めたい。



葦山文化センター(葦山時代劇場)

災害時の弱者対策について

問

- ① 地域等との連携は。
② 高齢者・障がい者・外国人等が参加できる訓練は。
③ マニュアルや台帳の策定は。

答

- ① 地域等との連携は、不可欠である。協力し対象者の把握・情報の共有・支援計画の整備が必要である。
② 方策を研究し、訓練内容に含めることを自主防災会にお願いする事も検討する。
③ 要援護者マップと共に一括管理システムを構築したい。

観光資源としての史跡の有効活用について

渡邊俊一

問

- 国指定史跡六ヶ所の利活用優先順位は決まっていますか。

答

- 全体を一度にやるのは不可能に近いので、専門家の意見を伺いながら、計画的な調査・整備・活用を行う事となります。

本年、史跡等整備調査委員会を組織し、守山中世史跡群・葦山反射炉・葦山城址・江川家史料などの部門で調査・報告・整備活用について検討いただき、その方向性を



世界遺産候補の葦山反射炉

問

- 五万点にも及ぶ江川文庫の研究・保存・公開は、江川家の史料は非常に膨大な貴重な史料であります。県が平成一四年から平成二二年まで調査を行い、一〇年目である本年は報告書を作成し、平成二四年には国指定の文化財になる事が予定されています。

答

- 収蔵庫は江川文庫が建設し、これを国・県・市が補助する形になると思います。

同報無線情報の難聴地域解消について

山下孝志

問

- ※同報無線テレホンサービスの早期実施を。

答

- 難聴地域の方々のためにも早期に導入する。

※「同報無線テレホンサービス」とは同報無線を聞きそびれたときに、フリーダイヤルで内容を確認することが出来るシステムです。



問

- 同報無線情報の携帯メール配信の実施と、防災ラジオの市内全戸への整備目標年度は。

答

- Eメールでは、防災情報・イベント・生活情報の配信を行っている。

- 東日本大震災を教訓に、防災ラジオやFM放送等を含め、情報伝達方法について再度検討する。

問

- 罹災証明書の発行がスムーズに行われる被災者支援システムの導入についての考えは。

答

- 先進事例の調査、研究を進めていきたい。

委員会の報告

平成23年度補正予算をはじめ、6月定例会で行われた審議内容や、閉会中の事務調査についての各常任委員会の報告です。

総務委員会

平成三年度一般会計補正予算

■地域防災活動支援事業

五一〇万円は

大規模地震対策等総合支援事業補助金を受け、地域防災活動支援事業として、各区の自主防災会に、一区当たり一〇万円程度の防災資機材を市が購入して整備する。この事業は、県が三分の一を補助する事業である。購入する備品としては、小型発電機・ヘルメット・ライト・二つ折り担架などがあるが、市で一〇万円の金額になるよう、防災用の備品を提示し、区が選んで整備する。

■防災関係備品管理事業

六二〇万円は

今回の東日本大震災で県を通じて被災者へ物的支援した備品や、**※全国市町村あやめサミット**連絡協議会加盟市である宮城県多賀城市に対して支援を実施した分と同じ数量を

市が備蓄品として購入して補充するものである。

この事業は、国の特別交付税の対象である。

※全国市町村あやめサミット連絡協議会とは

あやめを慈しむ自治体が、あやめの調査・研究及び市町村相互の交流を促進し、あやめを通じた個性豊かなまちづくりを寄与することを目的としている。加盟数は12自治体です。



■世界遺産登録推進事業

六〇〇万円は

国指定史跡「韮山反射炉」を世界遺産として登録していく中で、近代化産業群世界遺産推進協議会への負担金、旅費、印刷製本費等。

■地区防災活動支援事業

三〇〇万円は

県の三分の一の補助を得て、各区の要望に応じて自主防災会に防災の資機材を購入する。
■市民生活部の市民協働室の業務内容と職員数について
市民協働室は、区長会、男

女共同参画事業、NPOに関する事業を主に行っている。

職員は、室長以下二名である。

○閉会中の継続調査の報告

■東日本大震災に関する支援状況について

本市が加盟している「あやめサミット」で災害協定を締結しているので、同協議会に加盟している宮城県多賀城市への支援についての調査を実施した。

①被災者を招待

本市が無料で市内観光に招待するツアーを実施した。

六月末までに六回にわけて合計一八九名の方々が本市を訪れた。

本市の観光協会・旅館組合・商工会・各種団体など多くの市民のご支援ご協力のもと市内観光（反射炉・蛭ヶ小島・江川邸等の史跡めぐり）や、旅館内での市民との交流を通し、心身の疲れを癒してもらった。

②建設業協会の支援

同協会の会長・副会長が多賀城市を訪れ、支援対策を協議した結果に基づき、五月九日から七月三日まで、同協会が重機・トラックを持参し、多賀城市のブロック塀倒壊等による危険な箇所、約五〇〇箇所の撤去・搬出を実施した。協力支援企業は、二三社で、支援協力者は、延べ八三名であった。

この支援体制は当市の建設業協会による積極的支援に、市が協力する官民一体の支援で、多賀城市の方々に大変喜ばれた。



がれき撤去作業（多賀城市）

観光建設委員会

平成三年度一般会計補正予算

■衛生費寄付金二五万円は

環境保全費寄付金として、昨年より、同じ会社から寄付を受けています。

■環境衛生課職員人件費の

一七八万円の増額は

組織機構の見直しで、今までの環境政策課とクリーン課が一つになり、環境衛生課となったためです。

■農業総務費補助金

四〇〇〇万円の減額は

新規就農者の経営体育成事業は、制度変更により県の四〇〇〇万円を全額返上し、国の二四〇〇万円の補助事業となるものです。

■地域農政推進費事業

一三〇万円は

①耕作放棄地再生利用緊急対



舟口川

策補助金一〇〇万円は、平均事業費一〇a当り一六万円と積算し、二五〇a分を計画して、市の負担分四分の一を計上しています。

②再生作業附帯水路整備委託料三〇万円は、耕作放棄地解消対策の実施にあたり、市が施設管理者として水路の浚渫等を実施するものです。

■準用河川舟口川(奈古谷)

流域浸水対策事業九〇六万

四〇〇〇円は

市単独による事業が、狩野川中流域豪雨災害対策アク

シヨンプランの県補助金を受けられたことによる組み替えです。

■商工制度資金貸付事業

二六六三万一〇〇〇円の

増額は

中小企業融資利子補給金・セーフティネット貸付金利子補給金・中小企業災害対策資金利子補給金などを二年間にわたり補助するためです。

■準用河川山田川(守木)流域

浸水対策事業の二三七〇万円

の増額は

補助事業の調整池建設工事の追加が認められたものです。また、本年度中に完成見込みです。

■農業委員会事務事業費

一六六万二〇〇〇円の増

額は

委員報酬は市の報酬等審議会の答申に基づいて増額改定されたものです。

■文化事業費

一六三九万円の増額は

文化振興課の中に、歴史資

源活用推進室設置による人件費です。

■土木総務費

一〇五九万円の減額は

建設課職員三名の人事異動

費です。

閉会中の事務調査

■神島ポンプ場整備計画の概要について

中島・吉田地区の浸水被害対策として、旭化成ファーマ神島工場跡地を利用し、公共下水道事業として整備することになった。

中島排水区四八、七七ヘクタールを申請し、深沢川と鍋沢川の合流点にある既設樋門を二連から三連に増設し、強制排水を出来るようにするもの。

全体事業費

試算一六〇一七

億円で、国庫補

助二分の一・県

補助四分の一。

土地一八〇

〇㎡は平成二

四年度中に取

得し、平成二七

年度完成予定。



鍋沢川樋門

福祉文教委員会

平成三十三年度一般会計補正予算

■難病支援寄付金は、具体的にはどう使われるのか。

寄付金は、福祉対策基金（財務課管理）に積み立てましたが、使途は検討していく。

■自殺予防対策基金は、残りをどのように活用するのか。

自殺予防対策基金は、平成二二年・二三・二四年度事業として、「光をそそぐ交付金」六〇〇万円を基金にしている。

平成二三・二四年度では、電話相談事業に二七〇万円。残り二三〇万円で平成二四年度のメンタルヘルス事業で相談員を雇用したい。

■自殺予防対策事業の電話相談委託内容は、

三六五二四時間電話受付

体制で、担当者一名雇用という条件で委託する。電話代はフリーダイヤルになると思うが、決定してない。委託先は沼津の社会福祉法人「共生会」の予定。

市民へのPRは、チラシ等の配布、広報、ホームページ等で広めたい。

■生活保護受給者数は、

六月一日現在、四〇二世帯五二九名。前年と比べて六四世帯九〇名の増加。四、五月の二カ月で、二七世帯三八名の増加。

■生活保護世帯数と担当

職員数に基準があるはずだが、新たな担当者を配置するのか。

予算を組む段階では増加を見込んでいなかったが、東日本震災以降、生活困窮者と失業者の生活保護者が急に増加したため、今回の補正予算で非常勤の相談員を雇用して対

応する。

今後、人事に職員の増加をお願いしたい。

■児童虐待・DV（ドメスティックバイオレンス）対策事業の母子施設入所者

負担金について、施設の所在やケア、入所内容は、施設は県内に三カ所。事件

発生後、相談センターと協議し、二週間ほどの保護。その間に本人が将来を決める。母子寮に入所すると目途がつくまでいられる。

■母子寮への入所負担金は、本人負担があるのか。市の全額負担か。
本人負担は無い。生活保護を受けながら入所する。

■成人健康診査事業では、全く検診を受けていない人たちを把握しているか。
アンケートをとっていないので分からない。がん検診を勤務先で受けている人もあるので、人数把握をしていない。さらにPRが必要で、来年度に向けて検討する。

財産取得について

■不動産鑑定事務所の選択は。

堀越保育園移転事業による財産（土地）取得（一億三三八万二〇〇円）において、韮山地区担当の三栄不動産鑑定（株）。もう一社は、静雲荘跡地の鑑定をした、駿河不動産鑑定事務所である。

■委託金額の根拠は何か。また、鑑定評価金額と予算書の単価の関係は。

公的な公共団体が委託するといくらという基準がある。それに対して市の予定価格を設定した。そして、今の単価をそのまま反映させた。

※「DV」とは

夫や恋人など、身近な男性から女性が受ける暴力のこと。
最近は女性からの暴力もある。



堀越保育園建設予定地

平成23年 第2回(6月)伊豆の国市議会定例会

6月定例会は13日から27日の15日間の会期で行われ、報告、補正予算(第3号)、契約、財産の取得、諮問、選挙などが審議・承認された。また、最終日には、世界遺産登録・防災機材整備関係の補正予算(第4号)が追加承認された。

議案等一覧

- ◆専決処分の報告
- ◆伊豆の国市一般会計繰越計算書の報告(継続費・繰越明許費・事故繰越し)
- ◆伊豆の国市廃棄物の処理に関する条例の一部改正について
- ◆平成23年度伊豆の国市一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出総額に816万2000円を追加し、総額176億2800万円とする。
- ◆平成23年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出総額に82万円を追加し、総額56億7282万円とする。
- ◆平成23年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出総額に170万9000円を追加し、総額33億4470万9000円とする。
- ◆平成23年度伊豆の国市一般会計補正予算(第4号)
歳入歳出総額に900万円を追加し、総額176億3700万円とする。
- ◆共和幼稚園建設工事(建築工事)の請負契約の締結について
建設工事請負契約は3億2676万円です。
- ◆財産の取得について
堀越保育園建設に伴う財産(土地)の取得です。
(時代劇場東側、5646㎡、1億3381万200円)
- ◆人権擁護委員の推薦について
任期満了に伴い3名を委員として再任することに同意した。
- ◆農業委員会委員の推薦について
伊豆の国市農業委員会委員として4名を推薦した。
- ◆静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

議員決議

- ◆特別委員会の設置について
議会基本条例の制定及び議会改革推進のために議会制度改革特別委員会を設置する。



三好陽子 渡邊俊一 鈴木照久
水口成男 ◎後藤眞一 ○天野佐代里

議会だより特別委員会

各常任委員会の副委員長と委員の二名ずつが選出され、六名で構成されています。議会だよりは年四回、定例会後に発行しています。

委員は、多くの討論を限られた字数でまとめることや、現場に向かいの写真撮影など毎回苦労しています。

議会をお茶の間に届けようと「分かりやすさ」を目標に、専門用語や難解語句に解説を添えるなど、編集と校正作業に努めています。『議会だより』を通して、市民の皆様と対話でき開かれた議会となることを願っています。

編集後記

最近、小笠原諸島が世界自然遺産として、平泉尊寺・毛越寺等が世界文化遺産登録され話題になっています。

韮山反射炉も近代化産業遺産群として、世界遺産登録を目指し、推進協議会に参加することになりました。

今後は、ハード面だけでなく、ソフト面での市民参加も重要な要素となってきました。市民が積極的にアイデアや意見を出し合い、その声を反映できるような街づくりが望まれます。

行政・議会を始めとして、市民・企業・教育機関などが連携を強め、協働して当市の活性化を進める契機としたいと思います。

(天)

議会だより特別委員会

委員長 後藤眞一
副委員長 天野佐代里
委員 鈴木照久
渡邊俊一 水口成男 三好陽子